

獨協埼玉中学校 学校評価 第三者評価 (2019 年度)

教育内容の充実に向けて

中学 3 学期の補習の際、受験の終わった高校 3 年生が授業補助指導員（ティームティーチング）として参加することは非常に効果的である。教わる側は勿論、教える高校生にも非常に良い勉強になると思われる。今後もこのような取り組みが増えると良い。

大学共通テストや「探求学習」などの変化からもわかるように、今後の社会ではただ知識を増やすだけでなく、文章の読解力や思考力、想像力が求められることになる。そのために、貴校で取り組んでいる「実体験の積み重ね」や「レポート作成」、さらには「各種の発表」などは着実に結果につながると思われる。

携帯電話をはじめとする SNS の利用に関して

新入生に対しては講習会を実施しているようだが、1 回だけではなく、1 年間に何度か考えさせる機会を作ったほうがよいのではないか。道徳などでも指導を続け、トラブルになる前に、相手の気持ちを考えることのできる心を育てていただきたい。

どこの学校でも手を焼いていることだが、夜 8 時以降の家庭での使用制限をもう少し保護者に協力してもらうことはできないか。それだけでも多少は改善できると思う。

学校教育 ICT 化の推進について

全教室のプロジェクターやスクリーンの設置を完了し、更には新入生からの PC 購入構想や学校全体の Wi-Fi 化などを計画しているようだがハード面だけでなくその使い方を十分に検討して有効に活用してほしい。